

特集1 地域生活定着支援センター ……2、3
 “福祉の世話役” 民生委員・児童委員 ……4
 介護ぬくもり ……5～7
 福祉人材センターニュース ……8、9
 特集2 東日本大震災支援者座談会 ……10、11
 地域密着型サービス ……12
 シルバー110番 ……13
 広がれ！地域福祉 甲州市社会福祉協議会 ……14
 福祉施設訪問「リーフ葦崎」 ……15
 福祉の相談窓口 山梨県障害者福祉協会 ……16
 おしらせ ……16

やまなしの 福祉

2012年3月号



「今日は遠足だね」「がんばろうね」

園庭で遠足を楽しみにしている0歳児。

撮影：伊藤美奈子さん（双葉西保育園・甲斐市）

第25回いきいき写真コンテスト（主催：山梨県保育協議会）の第1位作品です

発行 社会福祉法人 **山梨県社会福祉協議会**

〒400-0005 甲府市北新1-2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614
<http://www.y-fukushi.or.jp/>



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。

だれの目にも優しいカラーユニバーサル・デザインで制作した広報です

出所者の「福祉」を支援

特集

山梨県地域生活定着支援センター



甲府市大津町に開設された山梨県地域生活定着支援センター。4人のスタッフが相談に対応している

自立生活難しい 高齢者や障害者

家探しや就労の手伝い

「地域生活定着支援センター」を、ご存じですか。刑務所などの矯正施設を出所した高齢者や障害者が、自立した生活ができないことで、再び犯罪を起こすのを防ぐために開設されています。山梨県では昨年11月、

甲府市大津町にオープンしました。センター長の小泉晃彦さんにお話を伺いました。

●スタッフは4人

山梨県地域生活定着支援センターは、県から委託された北杜市の社会福祉法人

「八ヶ岳名水会」が運営しています。事務所は、甲府刑務所（甲府市堀之内町）と道路を挟んで東側にある貸店舗の一角にあります。

「出所しても住む所がない場合など、罪を繰り返し、社会と刑務所を行き来するケースが度々あります。特に高齢者や障害のある人にとっては、行き場のない状況は深刻です。センターでは、保護観

察所や刑務所からの依頼を受けて入所者と面会し、本人の希望を聞き取ります。出所する前から社会復帰に向けた準備を進めるのが、従来の更生保護施設などと違う点です」

小泉センター長は20年以上、障害者の職業訓練に携わってきました。スタッフは、社会福祉士2人、介護福祉士1人の4人態勢。土・日曜日を除く毎日、対応しています。

〈福祉の支援が必要な刑務所出所者の現状〉

・親族などの受け入れ先がない満期釈放者は年間約7200人。そのうち高齢者や障害者がある自立が困難な人は約1000人

・65歳以上の満期釈放者が5年以内に刑務所に再入所する割合は70%前後で、64歳以下の年齢層に比べて約10%高い（法務省特別調査）

〈再犯率〉

65歳以上の再犯者のうち約4分の3が2年以内に再犯に及んでいる（平成19年版犯罪白書）

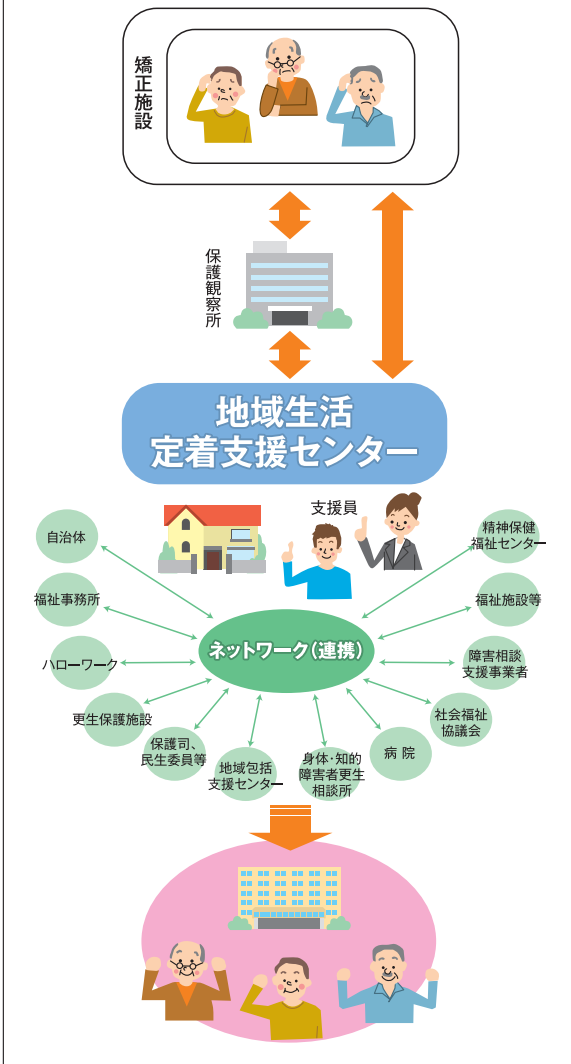
・法務省特別調査の対象となった受刑者2万7024人のうち、知的障害者または知的障害が疑われるケースが410人、療育手帳所持者は26人。410人のうち、犯罪の動機が「困窮・生活苦」だった人は36・8%に上っている

●医療につなげる

出所後に帰る家があっても、障害があるために介護などの支援が必要な場合は、ヘルパーなどの福祉サービスが受けられるように手続きを手伝ったりします。例えば、そううつ病がひどくなって医療刑務所に入っているケースの場合。ちゃんと治療しなかったことから、再び犯罪につながってしまった苦い経験がありました。

「出所して家に帰ると、治療が中断してしまう恐れ

支援の基本的な流れ



●事業内容

▶コーディネート業務

保護観察所からの依頼などに基づいて、矯正施設入所者と面接してニーズを把握し、受け入れ事業所などのあっせん、福祉サービスを利用する際の申請支援などを行います

▶フォローアップ業務

コーディネート業務のあっせんによって、矯正施設を退所後に福祉サービス事業所などを利用している対象者、及び本人を受け入れている事業所に対して必要な助言・支援を行います

▶相談支援業務

矯正施設から退所した対象者の福祉サービスなどの利用に関して、本人またはその関係者からの相談に応じ、助言や必要な支援を行います



「社会全体で支えていくことが大切」と話す小泉晃彦センター長

がある。継続して治療が受けられるように、医療機関をコーディネートしてほしい、と刑務所から依頼が入りました」

●チームワークが重要

センターでは、出所後に本人や主治医を交えてケア会議を開き、治療方針を決めました。現在は週2回、デイケアにも通ってリハビリを進め、時期をみて就職にもチャレンジしよう、と話し合

つているところです。小泉さんの表情が明るくなりました。出所者への支援は、医療機関や福祉事務所、ハローワーク、民生委員などさまざまな機関や人がチームをつくって、連携していくことが重要になります。●対象は毎年千人

●対象は毎年千人

法務省には、こんなデータがあります。高齢だったり、障害があったり、そのうえ帰るところもない満期出所者は毎年1000人程度いる。再犯率も高いというものです。

「地域生活定着支援センターは、こうした『司法』と『福祉』の狭間にこぼれ落ちた人たちを救おうと設けられたいきさつがあります」と小泉さん。知的障害のある34歳の男性は、この20年間、窃盗などを繰り返し、3回（6年間）服役しました。児童養護施設で育った彼は、両親の顔を知りません。若いころは住み込みで働いていた時期もありましたが、長続きしなかったようです。ホームレスをしていた時期もあります。

仕事です。

小泉さんは「センターだけで解決できることは一つもありません。地域や社会で共に生きていくために、どう支援したらよいか、みんなが問われている」と話

今回、出所を控えて、かつての障害者仲間から「助けてほしい」と、センターに連絡が入りました。スタッフは刑務所に行つて本人と面会し、県内で生活するための準備に取り掛かりました。こうした相談支援も、センターの大事な仕事です。

「福祉の世話役」民生委員・児童委員



高齢者の見守りなどを続ける芦澤美也子会長（左）と山本育子副会長

暮らし全般にわたる困りごとや悩み相談に乗ってくれる「民生委員・児童委員」。身近な「福祉の世話役」として頼られています。甲府・相川地区民生児童委員協議会の芦澤美也子会長と山本育子副会長に、現在の取り組みや今後の課題についてお聞きしました。

一日ごらの活動は。

芦澤 相川地区には約1万人が住んでいます。21人いる委員は、高齢者の見守りや相談にんだり、児童虐待の早期発見などに対応しています。

最近では、離婚や失業で生活に行き詰った若年層も増えています。こうした新しい社会的課題にも、福祉協議会などの団体と連携を図って取り組んでいます。

山本 高齢化率が50%を

高齢者の暮らし見守る



被災地に届けられた廃油せっけんと高齢者へのプレゼント

超える地域もあります。秋には75歳以上の高齢者を招

という願いを込めて。下校時の児童見守りも続けています。こうした活動が、信頼関係を築ききっかけになってほしい。

東日本大震災の被災地を訪れたそうですね。

芦澤 甲府・相川小が、津波で大きな被害を受けた宮城県石巻市の相川小と交流していることを知って、私たちも手づくりの廃油せっけんや支援助物を届け、とても喜ばれました。

現地の民生委員は「まず自分の安全を確保すること

個人情報保護がネックに

が、次の活動につながる

いて、「ふれあい食事会」を開きます。参加できなかった人には、ナンテンの木に載ったかわいいサルの人形を届けました。難を去る、

民生委員・児童委員

ひとり暮らしの高齢者らに対する援護や子育て相談・助言活動などを行っています。住民と行政との「パイプ役」。その地域をよく知っている人を自治会などから推薦してもらい、知事の推

薦を経て、厚生労働大臣が委嘱します。任期は3年で、再任も可能です。平成6（1994）年には、児童福祉を専門に活動する主任児童委員制度が設けられ、各地区に必ず1人以上配置されています。

震災をきっかけに、地域の絆が叫ばれています。

山本 相川地区には学生相手のアパートがたくさんあります。そこに生活保護の受給者が入居するケースが目立ってきました。しかし、自治会に入らない人も多く、災害が発生した場合は、安否確認をしにくい状況があります。

個人情報保護の時代ですから、大変ですね。

芦澤 自力で逃げるのが難しい高齢者をチェックするため、災害時重点的支援者登録があります。3人の支援員が必要なのですが、「協力はするが、名前を公にするのは困る」という人もいて、登録が進まないケースがあります。高齢者の中には登録を拒む方もいます。支援を求められなければ、私たちが関わっていくことが難しくなります。

山本 気になる人がいたら、私たちが足しげく通う。つながりを築くには、そんな積み重ねが大事だと思います。

介護のノウハウ 誰でも学べます



出張講座もOK

ると身体の変化について講義します。お年寄りと接するときの参考になります。職員が出向く場合は、体験などで使用する会場や備品の準備が必要です（定員30人、所要時間2時間半）

団体福祉用具体験講座

センターには、約750点の福祉用具が展示してあります。見て・触れて・試



眼鏡やおもりを着け、高齢者の動き辛さを学ぶ

しながら、正しい使い方や選び方を案内します。介護保険を使った福祉用具の利用についても学べます（所要時間1時間〜1時間半）

介護保険の仕組みとサービス

介護保険制度の基本的な仕組みや申請手続き、サービスの内容などについて学びます。出張する場合は、



センターには多くの福祉用具が展示してある

プロジェクトクターなどの機材が必要になります（所要時間1時間半）。

認知症サポーター養成講座

認知症に対する理解、早期発見・治療、接し方などを、スライドを使って学びます。受講者には認知症サポーターの証しである、オレンジリングが渡されま



介護保険の仕組みやサービス内容を学ぶ参加者

す。出張講座では、プロジェクトクターなどの機材が必要です（所要時間2時間）。

リクエスト介護講座

リクエスト介護講座
ベッドから起こす方法、移動の仕方、おむつのあて方、車椅子の使用法など、介護のこんなことを教えてほしいという内容に合わせて開催します（所要時間1時間〜2時間）。

◇ 平日9時から17時の開催が基本ですが、希望する内容や日時、場所、人数などに応じて調整します。研修などにもご利用ください。各講座とも受講料は無料ですが、実費が必要な場合もあります（疑似体験でのお買い物で200円程度）。

申し込み・問い合わせは
県立介護実習普及センター
（電話055・254・8680）。

団体入門介護講座

県立介護実習普及センターが開催している介護に関する知識や技術を学べる講座を紹介しします。センターへの来所が困難な場合は、職員が出向く出張介護講座も行っていきます。お気軽にご相談ください。

サポーターやおもりを着けて、お年寄りの動き辛さを体験できる「高齢者疑似体験」や、お年寄りのこ

買い物や通院にシルバーカー

シルバーカー（買い物カートの歩行車）は、軽度の障害者や足の弱った高齢者の外出用として利用されています。家の出入口に段差などがなく、道路も坂になっていない場合は、商店街へ出かけて買い物をしたり、病院に通ったりする高齢者にとって、便利な福祉用具です。

シルバーカーには、軽量タイプで車や電車、バスに持ち込むことができる物や、買い物かごや休憩するためのイスが付いている物もあります。

寄りかかって身体を支えるには、シルバーカー自体にある程度重量があり、重心が低いものの方がいいでしょう。また、背中を伸ばして、少し大股で歩きたいときは、握りが平行についていて、足元に十分な空間のあるものがいいでしょう。

県立介護実習普及センターの展示品の中から紹介いたします。お問い合わせは当センター（電話055・254・8680、FAX055・254・8690）へ。



商品名 ニューウォーキングⅢ 601A
価格 19,740円（税込）
特徴 ワンタッチで高さ調節ができます。手元ブレーキに加え、足元にもペダル式ブレーキがあるので、駐車する時に便利です。折り畳むことができ、持ち運びが楽です。バッグ、イス付き。重量2・95^{kg}。

商品名 テイコブファニー STU01
価格 29,190円（税込）
特徴 U字型ハンドルのシルバーカー。身体の近くでグリップを握ることができるので、より安定した姿勢で歩行できます。バッグ、イス付き。重量4・8^{kg}。



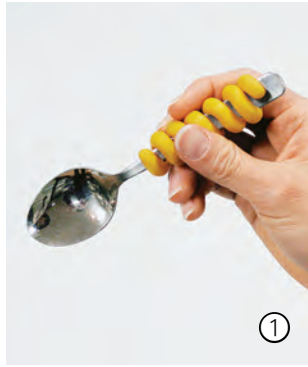
商品名 スタンダードシルバーカー ST003
価格 26,040円（税込）
特徴 小柄な方にはSタイプ、背の高い方にはLタイプがあり、身体に合ったサイズを選べます。大きな前輪で段差を乗り越えることができ、後輪は溝や穴にはまりにくい幅広設計で安定しています。肘掛けが付いた座面付き。重量6・2^{kg}。

100円ショップの
便利品

手軽な値段と豊富な品数をそろえた100円ショップ。そこで見つけた、暮らしを便利にする用品を紹介しましょう。

商品名「すべり止めグリップ」(写真①)

この商品はスプーンやフォーク、筆記具、歯ブラシ



などに巻き付けて使います。らせんの形と柔らかい質感で滑りにくく、少ない力でも持ちやすくなっています。

商品名「持ち手付安心食器」(写真②)

手の力が弱くなった方に



とっては便利な食器です。取っ手が指にかかると簡単に握りやすく、持ちやすくなっています。

また、衝撃にも強く、安定性の良い、広い底面にな

商品名「ボディー洗い泡だち手袋」(写真③)

この商品は、入浴介護時に手袋に石けんやボディーソープをつけて泡立て、体



や手足の細かい部分まで、指先でやさしく洗うことができます。指圧マッサージ効果もあり、乾きも早く衛生的です。

商品名「マジック・マツト(すべり止め用)」(三枚入り)(写真④)

固いビンのふた開けや玄関マットの滑



り防止などに便利な一品です。特殊な弾力樹脂できており、衝撃も吸収します。OA機器・スピーカーの共振防止にも使えます。

図書紹介



編著者 読売新聞社生活情報部
発行 生活書院

介護はさまざまな困難を伴います。家族にとつて大きなストレスになり、時に悲惨な事件を招き、時に悲しい事件を招き、2002年3月か

くことも少なくありません。読売新聞では、そうしたストレスを少しでも減らすようと、2002年3月か

ら2006年3月まで毎週日曜日、「やさしい介護学」を連載しました。本書は、それをまとめたもの。入浴やトイレの介助、ベッドからの立ち上がり、おむつの取り替え。お年寄りを世話する際に、日々必要な動作を、詳細なイラストとともに解説しています。また、認知症ケアから救命手当てまで、介護される人の尊厳を守り、ケアする人にもストレスを軽減する

このほか、介護・看護・福祉についての本268冊、ビデオ188本の貸し出しをしています(DVDに関しては貸し出せないものもあります)。詳しくは県立介護実習普及センター(電話055・254・8680)にお問い合わせください。

福祉のお仕事

FUKUSHI-JOB SEARCH

WEBに求人や資格情報が満載

福祉人材センターが運営する「福祉のお仕事」(<http://www.fukushi-work.jp/>)は、福祉分野の求人情報に関する日本最大の

WEBサイトです。求人情報のみならず、各施設や事業所のサービスや就労に向けてのさまざまな情報を掲載しています。

「福祉のお仕事」では
全国の福祉人材センター・福祉人材バンクでご紹介する
福祉・介護の求人情報を **検索** できます。



- ◆求職者向けのページでは、次のような情報を掲載しています。
- ①全国の福祉施設などの求人情報（掲載されている求人への応募が直接行えます）
- ②福祉の仕事内容や資格

- ③現在の福祉・介護分野の求人の動向
- ④現場で働く人の声
- ⑤イベント情報
- ⑥全国の福祉人材センターに登録されている事業所情報
- その他、各種情報が満載です。

「福祉のお仕事」では
福祉・介護の求人情報を全国に **発信** します。



◆「福祉のお仕事」に求人情報の掲載を希望する方は、福祉人材センター・福祉人材バンク（厚労省認可無料職業紹介機関）へ、事業所マイページの利用登録を申請してく

ださい。「福祉のお仕事」への事業所・求人情報掲載の他、圏内の登録求職者への情報提供、マッチング、就職フェアや研修のご案内も行います

対象求人のみでの検索が可能になりました

○「新卒学生の応募」項目を使って、新卒

せを変更しました

別をもとに求人事業所を探す場合の組み合わせ

方法が一部変更になりました。

○「ご希望の分野」項目から、実施事業種

別をもとに求人事業所を探す場合の組み合わせ

せを変更しました

▼求職者の皆さんへ

リニューアルによって、求人事業所の検索

方法が一部変更になりました。

○「ご希望の分野」項目から、実施事業種

別をもとに求人事業所を探す場合の組み合わせ

せを変更しました

協力願います

○求人票の抹消申請（採用者数の報告）内容

が変わります。事業所と求職者のマッチング

が適切であったかを確認する意味からも、ご

協力願います

○求人票登録の際、「採用決定予定日」を入

力していただき、この予定日をもとに採否決

定状況確認のメールをシステムより自動送信

いたします

○申請中の求人票を事業所マイページトッ

プ画面より確認できます

○求人票登録の際、「採用決定予定日」を入

力していただき、この予定日をもとに採否決

定状況確認のメールをシステムより自動送信

いたします

た

○事業所情報や求人情報に掲載する「実施

事業分野」の選択肢や選択方法が変わりまし

た

○「新卒学生の応募」項目を使って、新卒

せを変更しました

別をもとに求人事業所を探す場合の組み合わせ

方法が一部変更になりました。

○「ご希望の分野」項目から、実施事業種

別をもとに求人事業所を探す場合の組み合わせ

せを変更しました

▼求職者の皆さんへ

リニューアルによって、求人事業所の検索

方法が一部変更になりました。

○「ご希望の分野」項目から、実施事業種

別をもとに求人事業所を探す場合の組み合わせ

せを変更しました

●HPをリニューアル

本サービスが、さらに使いやすくなりニュー

アルされましたので、ご紹介します。

▼福祉事業所の方へ

リニューアルにより求人票の申請内容など

が変わりました。

○求人票の登録の際、「新卒者学生の取り扱

い」で「新卒のみ」を選択すると、求人票を

お預かりした年度の末日（3月31日）までホ

ームページに掲載可能となりました

○事業所情報や求人情報に掲載する「実施

事業分野」の選択肢や選択方法が変わりまし

た

○申請中の求人票を事業所マイページトッ

プ画面より確認できます

○求人票登録の際、「採用決定予定日」を入

力していただき、この予定日をもとに採否決

定状況確認のメールをシステムより自動送信

いたします

目指そう介護福祉士 修学資金をサポート



介護福祉士等 修学資金貸付事業

現在わが国は、福祉・介護の現場で活躍できる人材の育成や、職場環境の整備、研修の充実などに取り組んでいます。「介護福祉士等修学資金貸付制度」は、こうした取り組みの一環として、「福祉・介護の現場で活躍したい」という方の進学や資格取得をサポートするものです。

介護福祉士等修学資金の概要

◆対象者

山梨県内の指定された介護福祉士養成校にて修学している学生。

◆貸付額

介護福祉士養成施設に入学される方に、在学中の学費として

《月額5万円以内》

さらに必要に応じて、

《入学準備金20万円以内》

《就職準備金20万円以内》

を貸し付け。

◆利子

全額無利子

◆返済

5年以上、山梨県内で介護福祉士として活躍すれば返済は全額免除されます。

◆問い合わせ先

山梨県社会福祉協議会 福祉人材研修課
(電話 055・254・8654)

「福祉のしごとガイドブック」好評配布中!



福祉の仕事と一口に言ってもさまざまな職場や仕事内容があります。仕事に就くために必要な資格も異なります。

このガイドブックは、福祉の世界に就職したいという方に向けて、福祉の職場や仕事内容、必要な資格についてご案内しています。

また、山梨県内の社会福祉施設などを網羅した唯一の便覧としても活用いただけます。

ご希望の方は、山梨県福祉人材センターまでお問い合わせください（電話 055・254・8654）。



特集 東日本 大震災

東日本大震災が発生してから1年。建物の倒壊や津波から逃れたものの、慣れない避難所生活による体調悪化やストレスで亡くなった被災者がいます。特に障害のある人や高齢者は、心身ともに不安定な状況になりやすいとされています。今回は、被災地で復旧支援活動にあたった野田重代さん（県社会福祉士会）、森嶋美子さん（都留市社協）、金丸忠仁さん（自主防災リーダー）、橋爪孝裕さん（県社会福祉協議会）の4人に、要援護者への対応を中心に話し合ってもらいました。司会は田辺光正県社協福祉振興課長です。



田辺 県社協も要援護者支援には積極的に取り組んでいきたい



野田 南三陸町の避難所で会った身体に障害のある男性は、津波で押しつぶされてしまったため、ト

支援者座談会(下)

取り組んでいたか、お話しください。

でいきいと考えています。まず、被災地ではどのように



野田 重代さん
山梨県社会福祉士会会員

く、重度の要援護者らを受け入れる福祉避難所になっていた特別養護老人ホームなどの施設は、津波で流

福祉避難所に関心を 野田
支援拠点も併設して 森嶋

保健師にも同様の悩みを伝えるに苦労しています。混乱している被災地で

今回は災害の規模が大き

【福祉避難所】阪神・淡路大震災を教訓に、国が1996年に打ち出しました。一般の避難所では生活が困難な障害者や高齢者、妊婦ら要援護者のために特別な配慮がされた避難所のことです。車いす用のトイレやスロープを設けたバリアフリー化された施設が望ましいと考えられ、全国各地で設置が検討されています。

イレに行くにも誰かに介助してもらわなければならぬ状況でした。その事を、町の地域包括支援センターに伝えると、支援物資の中にちょうど押しつぶされた、翌日には届けることが

男性は、避難所を訪れた

されてしまいました。山梨でも、どこを福祉避難所にするのか、課題です。また、それが使えないときは、どうするのか。今から対策を考えておくべきだと思います。

また、福祉避難所自体がよく認知されていないのではないのでしょうか。地域の福祉避難所がどこにあるのかを、住民に知ってもらうことが重要ではないでしょうか。

森嶋 昨年9月、釜石市へのボランティアバスを企画しました。山の奥の高台にある仮設住宅を訪ねたのですが、車がなければ買えません。高齢者や障害者など災害弱者にとっては、とても不便な場所でした。

仮設住宅に併設する形で、医療や介護サービスを提供する拠点を設けていくことが、これからは必要不可欠だと実感しました。

被災者は、目に見えない心理的ダメージを大きく受



森嶋 美子さん
都留市社会福祉協議会
地域福祉活動コーディネーター

地域の住民に周知徹底しておくことが必要だと思う。その前提として、福祉避難所をテーマにしたシンポジウムなどの開催を、ぜひ検討してほしい。

私の住んでいる地区でも、「設置する」としたら、あそこだろう」という程度で、

対応する人を決めて 金丸

認知度は低い。

福祉避難所の設置場所を決めて、高齢者や障害者の対応を誰がするのかを決めておく必要があると思います。

都留市では一昨年、災害時要援護者支援マニュアルが策定されました。その過程で、これまでは防災訓練にあまり参加してこなかった視覚障害者が、「避難誘導訓練をやってほしい」と訴え、メニューに追加されました。視覚障害者だけでなく、精神障害などいろいろな障害がある方にも呼びかけていこうと、新たなネットワークを広げていくきっかけになりました。

金丸 災害が発生した場合、どこに福祉避難所が設置されるか、日ごろから

橋爪 福祉避難所は、どの行政の防災計画の中にも明記されています。例えば、「市町村の社協が設置する」というように。ところが、担当する社協がその事を知らない、といったケースも見受けられます。今回は、一般の避難所で

も精神的に大きなダメージを受けている人が目立ち、その意味では福祉避難所と大きな差がない。それほど被害が甚大だった、という印象があります。

野田 南三陸町では、福祉避難所をダメージの少なかった町外に設けざるを得ませんでした。町の担当者が出向くことが難しいため、宮城県社会福祉士会に頼んで、避難所にいる方の

住民の認識高めよう 橋爪

ニーズ調査をしてもらっていただきました。こうした専門職団体との連携は大変有効だと感じます。

山梨でも大きな災害が起



金丸 忠仁さん
南アルプス市災害・防災ボランティア地区連絡会
藤田区自主防災リーダー

金丸 先ず福祉避難所を整備していくことで、一般避難所に対する意識も高くなると思います

田辺 本日は、「災害時要援護者登録制度」の有効性を高めていくことや、「福祉避難所」の設置運営に対する取り組み強化を図っていくことなどについて、ご提言を頂きました。県社協では、本日の提言を、要援護者支援の取り組みに反映させていきたいと思えます。



橋爪 孝裕さん
山梨県社会福祉協議会
福祉人材研修課
課長補佐

野田 災害時の要援護者登録制度にも課題が残されています。介

きた場合、福祉避難所を町外や市外に設置しなければならぬ状況が出てくると思います。

す。地域の人たちが手助けしなければ、命が助からないかも知れない人が身近にいる。そのことをあらためて認識するきっかけにもなります。

田辺 福祉避難所は、まだ市民権を得ていないようですね。

地域密着型サービス

「地域密着型サービス」を知っていますか。介護が必要になっても、可能な限り住み慣れた自宅や地域での生活が継続できるようにするためのサービスです。平成18年の介護保険制度改正に伴って導入されました。

「地域密着型」サービスには、認知症の高齢者が家庭的な雰囲気の中で生活する「グループホーム」や、



慣れた手つきで餅つき。きねを持つ若い家族を利用者が指南



地域住民を対象に開いた認知症の基礎講座

（社会福祉法人壽光会）の取り組みを紹介します。

○料理を囲んで交流

利用者が自宅で生活しながら通ったり、訪問サービスを受けたり、ときには宿泊サービスも受けられる「小規模多機能型居宅介護」などのサービスがあります。

昨年9月、山梨市牧丘町室伏に開所した地域密着型複合施設『憩の家湯苗田』や家族、地域住民が参加し

利用者が地域とつながって暮らしていきけるようにするため、事業所自体も地域の一員として日常的に交流しています。

開所して初めて迎えた年末。「湯苗田」では、利用者

で餅つきと忘年会が開かれました。

家族が餅をつき、利用者は返し手を担当。つき上がった餅や畑で採れた野菜などを使った料理を囲みました。地域住民との交流を図るだけでなく、事業所の様子を知ってもらう良い機会にもなりました。

○地域にノウハウ還元

住み慣れたところで…

「地域密着型サービス」を展開

の機能を持ち、認知症に関するあらゆる相談に専門職員が対応しています。高齢時代。認知症や一人暮らしの高齢者の増加が見込まれる中、管理者の安富保子さんは「地域で暮らしていくことはどういうことか、地域に何を提供していくことができるか、常に問い続けていきたい」と話しています。

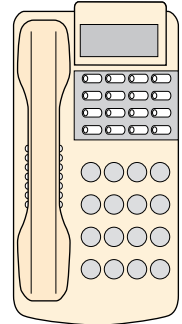


評価をネットで公表 今回紹介した「地域密着型サービス」には、提供するサービスの質を自ら評価する「自己評価」と、第三者が評価する「外部評価」の実施が義務づけられています。

山梨県では、県社会福祉協議会が外部評価機関になっています。自己評価結果と外部評価結果は、独立行政法人福祉医療機構が運営する「WAMNET（ワムネット）」に掲載し、公表しています。

湯苗田では、民生委員や老人会、地域住民を対象に、認知症ケアについて勉強会を開催しました。依頼があれば職員を公民館などに派遣し、一人でも多くの住民に認知症に対する理解を深めてもらう努力をしています。

また、山梨市認定の「認知症よるず相談所」として



県社会福祉協議会で設置している高齢者総合相談センターには、相続に関する相談が多く寄せられます。

問い

相続人同士で遺産分割協議を進めてきましたが、話し合いができません。どうしたら解決できるでしょうか。

答え

相続人同士で遺産分割の話し合い



新日本法規出版『誰にもわかる社会生活六法 法律相談Q&A 第2巻』987ページから

がつかない場合、家庭裁判所に調停または、審判を申し立てることができます。その際、相続人の1人ないし数人が申立人となり、相手方は他の相続人全員となります。

○調停と審判の関係

調停は、調停委員会が相続人から事情を聞き、話し合いで合意を目指す手続き

しかし、家庭裁判所は、審判として申し立てられた事件をいつでも職権で調停にすることができます。実務上は、まずは調停で話し合いを続け、それでも合意の見込みがないときは調停が不成立となり、審判手続きに移ります。

○調停申立手続き

相手方（申立人以外の相

遺産の分割協議

まず調停で話し合い

です。調停委員会は、家事調停委員2人と家事審判官（裁判官）によって構成されています。

審判は、家事審判官（裁判官）が適切な方法を決める手続きです。

遺産分割は、先に調停をしなければならぬ、という原則をとっていないので、最初から審判を申し立てることもできます。

続人全員）のうちの1人の住所地を管轄する家庭裁判所が、調停の申し立てを受け付けます。

申し立ては、書面または口頭で行うことができます。口頭で行う場合は、家庭裁判所の書記官に必要な内容を伝えます。一般に、書記官が調書を作成することになります。

裁判所に備え付けてある申

新日本法規出版『誰にもわかる社会生活六法 法律相談Q&A 第2巻』988ページから



立書用紙に必要な事項を自分で記入して申し立てることができます。

○調停手続き

調停手続きは、調停委員会により進められ、申立人、相手方の両方から順次、遺産の範囲（現金、預貯金、不動産、借金など）、遺産分割の方法（現物、売却し現金で分けるなど）、特別受益（生前贈与などの財産分与）の有無といった点について意見を聞き、双方に譲歩を求め、できる限り話し合いによる合意を目指します。

話し合いの結果、相続人全員の合意ができたときは、

遺産分割の方法を記述した調停調書を作成します。

○審判手続き

審判手続きは、家事審判官（裁判官）が職権により事実を確認し、証拠調べを行い、最も適切な遺産分割の方法を決めます。職権といっても家事審判官（裁判官）が全ての事実や証拠を捜し出すことは実際上困難ですから、相続人としては積極的に真実を伝え、証拠を提出する必要があります。



◇ 相談は無料です。山梨県高齢者総合相談センターは、高齢者とそのご家族からの悩み、心配なことなど「なんでも相談」（電話番号 055・254・0110）に応じています。相談時間は月々金曜日、午前9時～午後5時まで（12月29日から1月3日を除く）。
なお、弁護士による法律相談は予約制ですので、まずはご連絡ください。

広がれ！
地域福祉

甲州市社会福祉協議会

赤ちゃんに手作りスプーン
子育て家庭の孤立化防く

甲州市社会福祉協議会は、市内の赤ちゃんに手作りの木製スプーンをプレゼントしています。赤い羽根共同募金の助成を受けた「ファーストスプーン」事業は昨年4月、スタートしました。

スプーンには、赤ちゃんの名前と生年月日が刻印されています。各地区の民生委員児童委員と主任児童委員が、赤ちゃんのいる家庭を一軒ずつ訪問。これまでに102本(1月末現在のスプーンを手渡しました。訪問時には、子育てに関する不安や悩みの相談に乗ったり、市内の子育てサロンなどの情報を伝えたりしています。

3年ほど前、民生委員児童委員連絡協議会が研修で長野県松本市を訪れた時、同市では、赤ちゃんに「ファーストスプーン」を贈呈する事業を展開していること



赤ちゃんがいる家庭に手作りスプーンを手渡す民生・児童委員ら

を知り、これに感銘を受けたメンバーが市社協に提案し、事業化されました。スプーンを届ける民生委員児童委員は「スプーンを届けた時の母子の笑顔がうれしい。地域をつなぐきっかけになってほしい」と話します。スプーンを贈られた母親からも「地域の温かさを感じる。大切に使用していきたい」と好評です。甲州市社協地域福祉係の武川伸子さんは「スプーンをきっかけに、子育て家庭の孤立化を防ぎ、地域全体で子育てを見守る環境をつくっていきたい」と話してくれました。

福祉救援活動フォーラム開催



今後30年間に東海地震が発生する確率が87%となっている山梨県。地域の防災力強化は喫緊の課題です。特に、お年寄りや身体が不自由な人など、災害が発生した場合に被害を受けやすい要援護者の安全を、どう確保すればいいのか。迅速な対応が求められています。

▽人材育成や組織強化

こうした状況を踏まえ、山梨県社会福祉協議会は、地域住民とボランティアらとの連絡調整を担う人材の育成や、災害発生時に各市町村社協に設置される災害ボランティアセンターの機能強化に取り組んできました。

平成22年度からは、市町村社協で要援護者支援対策が効果的かつ効率的に実施できるよう支援するため、福祉マップづくり

研修会を開催。要援護者支援対策推進のためのマニュアル作成に向けて、検討会を開催するなど取り組んでいます。

▽災害に強いまちづくり

県社協は「災害に強いまちづ



福祉マップづくりについて学ぶ参加者
くりに目指して」をメインテーマに、平成18年度から毎年、実践発表や記念講演を開催しています。防災・災害救援活動に取り組んでいる関係者に集まって頂き、それぞれの地域における

今後の活動に向けての方向付けと、情報の共有化を図ることが狙いです。

本年度は、これまでの災害から得られた教訓をもとに、個人や地域として取り組むべき課題について、みんなで一緒に考える機会にしたいと思います。テーマは「防災と要援護者支援」です。

○日時 平成24年3月23日
(金) 午後1時30分～

○場所 甲府市総合市民会館
芸術ホール

○講師 富士常葉大学・大学院環境防災研究科の重川希志依(しげかわきしえ) 教授

○定員 500人(定員になり次第締め切らせて頂きます)。詳しくは県社会福祉協議会福祉振興課地域福祉推進担当(電話055・254・8610)まで。

福祉施設 訪問

リーフ萠崎

地域社会の中で自立した生活を目指す



カメラ部品を加工する施設利用者

萠崎市龍岡町にある「リーフ萠崎」は、平成19年に就労継続支援A型施設として開設されました。現在は30人（知的・精神・身体障害者）が通っています。働く意欲や能力のある障害者が、作業訓練などを通じて、能力の向上や職場マナーを習得。企業への就労を目指すとともに、地域社会の中で自立した生活ができるように支援しています。



就労支援施設「リーフ萠崎」

仕事は、企業の協力を得て、自動車部品やカメラ部品の加工などに取り組んでいます。雑誌やダイレクトメールの宛名印刷・封入、菓子箱づくりなども受託しています。21年度からは施設外就労による企業体験を始め、現在7人の利用者が企業で働いています。作業訓練にあたっては、それぞれの適性を考慮して作業を分担。正確性やスピード、責任感が身につくよう指導しています。より難しい作業への挑戦や作業量の増加にも対応できるようにしました。所長の山本寿仁さんは「企業から仕事をもらうには、しっかりと品質管理と納期の厳守が欠かせない。今後受注量を増やし、工賃アップに努めたい」と話しています。

施設概要

施設名 特定非営利活動法人わたげの会
就労継続支援A型事業所「リーフ萠崎」
住所 〒407-0031 萠崎市龍岡町若尾新田849-1
連絡先 TEL 0551・22・0055
FAX 0551・22・2588
URL <http://lef-nirasaki.org/>

設立 平成19年4月3日
敷地面積 1,115m²
延床面積 699.84m²
建物構造 鉄骨2階建て
定員 20人
関連施設 なし

ちよつと寄り道

萠崎市民交流センター



市民の交流拠点として整備された「ニコリ」

昨年9月、萠崎駅前におよんだ萠崎市民交流センター（愛称ニコリ）は、子どもから高齢者まで楽しめる拠点。リーフ萠崎の利用者も活用しています。1階は観光案内や物産販売コーナー、地域情報発信センター、公民館、ふるさと偉人資料館があります。2階は10万冊の蔵書と最新のIT環境を備えた市立図書館、3階は子育て支援センターが整備されています。

小さな芸術家たち

「第31回児童文化奨励絵画展」から

（全国児童養護施設協議会主催）



＜県代表作品＞

- ◇題名 「命」
- ◇施設名 山梨立正光生園 ◇学年 高校1年
- ◇審査員のコメント 人間の生命が強く感じられる。

おしらせ



福祉の
相談窓口

(第5回)

山梨県福祉プラザ（甲府市北新1-2-12）内にある相談窓口を紹介します。

今回は「山梨県障害者福祉協会」です。

■何をするとおころですか？

障害者の権利擁護、結婚、IT関係の相談に応じ、社会、文化、スポーツなどのあらゆる分野の活動に参加する機会をつくり、障害者の社会参加のお手伝いをしています。

■どんな相談にのっていただけますか？

①障害者の権利擁護相談

障害者、その家族、また障害者に関わる方の権利擁護についての相談を受け付けています。

一般相談時間は、火曜日～金曜日の午前9時～午後4時、土曜日は午後1時～4時です。

なお、弁護士相談（予約制）を毎月第3火曜日の午後1時30分～4時30分まで行っていきます。一般相談、弁護士相談ともに電話055・254・6266にご連絡ください。

②障害者の結婚相談

出会い、交際、結婚に至る間のさまざまな相談に応じています。

相談時間は水、木、日曜日の午前9時～午後4時、金曜日は午後1時～8時です。電話は055・252・0100です。

来所して相談をしたい場合は、事前にご連絡ください。

③ITサポート支援

パソコンに関する相談、自宅などでパソコン及び周辺機器の使用をサポートするボランティアの派遣を行っています。

相談時間は火曜日～日曜日（土曜日は除く）午前9時～午後4時（水曜日は午後1時～8時）です。電話は055・252・0100です。

ボランティア派遣希望の場合は、申請書の提出が必要となります。

■だれが相談にのっていただけますか？

本会権利擁護相談員、結婚相談員、ITサポート職員が相談・支援にあたります。

いずれも相談は無料です。

報 告

善意が続々寄せられました

山梨ともしび基金は、社団法人山梨県労働者福祉協会（渡辺一彦会長）様と日本労働組合総連合会山梨県連合会（神宮寺聡会長）様から100,000円ずつのご寄付をいただきました。

これまでに寄せられた金額は、両団体累計で4,315,000円となりました。

寄付金は、障害者・児童・高齢者福祉やボランティアの各分野で普及啓発、養育訓練、調査研究などの活動を行っている団体に助成する基金として活用させていただきます。ありがとうございました。

【担当】 県社会福祉協議会福祉振興課 電話055-254-8610



山梨県労働者福祉協会の渡辺一彦会長（右）から寄付金を受け取る県社協の石川豊会長



日本労働組合総連合会山梨県連合会の神宮寺聡会長（右）から寄付金を受け取る県社協の石川豊会長

善意をありがとう

山梨ヤクルト販売株式会社

（上田聡彦社長）様から県社会福祉協議会に対して、200,000円のご寄付をいただきました。

同社からの寄付は、累計額6,469,001円になります。

寄付金は山梨県民間社会福祉基金として積み立てを行います。

またその一部を予算化し、福祉救援などの事業を実施するために活用させていただいています。ありがとうございます。

【担当】 県社会福祉協議会 総務企画課 電話055・254・8610



ありがとう、山梨ヤクルト販売様